

Mizuho Daily Market Report

2026/6/11

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	160.39	160.55	+0.19	+0.48
EUR	1.1554	1.1535	▲0.0008	▲0.0062
AUD	0.7018	0.6999	▲0.0031	▲0.0130
SGD	1.2874	1.2875	+0.0007	+0.0041
CNY	6.7766	6.7754	+0.0008	▲0.0031
MYR	4.0637	4.0700	+0.0100	+0.0715
THB	32.87	32.88	+0.03	+0.31
IDR	17946	17953	▲107	+3
PHP	61.44	61.42	▲0.13	▲0.32
INR	95.30	95.27	▲0.08	▲0.44
VND	26317	26321	▲9	▲22

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.552%	+3.6 bp	+5.8 bp
日本(10年)	2.690%	+0.8 bp	+5.1 bp
ユーロ圏(10年)	3.076%	+3.3 bp	+4.1 bp
オーストラリア(5年)	4.556%	▲3.7 bp	▲4.5 bp
シンガポール(5年)	1.777%	▲2.0 bp	+6.2 bp
中国(5年)	1.448%	+1.3 bp	+2.3 bp
マレーシア(5年)	3.440%	▲0.2 bp	+3.7 bp
タイ(5年)	1.557%	▲1.8 bp	+1.3 bp
インドネシア(5年)	7.461%	+7.6 bp	+72.4 bp
フィリピン(5年)	7.258%	▲11.1 bp	+6.8 bp
インド(5年)	6.571%	+5.8 bp	▲25.5 bp
ベトナム(5年)	4.129%	+0.0 bp	+0.4 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	49,918.78	▲1.9%	▲1.5%
N225(日本)	64,179.27	▲1.9%	▲6.2%
STOXX50(ユーロ圏)	6,009.95	▲0.7%	▲0.7%
ASX(オーストラリア)	5,517.44	+0.3%	▲0.8%
FTSTI(シンガポール)	4,958.85	▲1.3%	▲3.5%
SSEC(中国)	3,993.23	▲0.4%	▲2.2%
SENSEX(インド)	73,983.18	+0.1%	▲0.5%
JKSE(インドネシア)	5,902.38	+2.7%	▲0.7%
KLSE(マレーシア)	1,678.96	+0.2%	+0.4%
PSE(フィリピン)	5,941.36	▲0.1%	▲0.2%
SETI(タイ)	1,563.59	▲1.3%	▲1.5%
VNINDEX(ベトナム)	1,803.71	+0.6%	▲0.8%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	373.42	+0.3%	▲4.0%
金	4,072.31	▲4.4%	▲8.2%
原油(WTI)	90.03	+2.1%	+1.1%
銅	13,466.23	▲0.8%	▲2.4%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	158.80	—	161.00
EUR/USD	1.1470	—	1.1700
AUD/USD	0.6955	—	0.7150
USD/SGD	1.2560	—	1.2980
USD/CNY	6.7510	—	7.0190
USD/MYR	4.0500	—	4.0930
USD/THB	31.45	—	33.15
USD/IDR	17500	—	18210
USD/PHP	60.00	—	61.90
USD/INR	93.30	—	97.00
USD/VND	25,900	—	26,500

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (8)	>	Bear (0)
USD/SGD	Bull (7)	>	Bear (1)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は、160円台前半からオープン。円ショートポジションを閉じる動きか、一時15銭程度急落する場面も見られた。しかしその後は、海外時間に米5月CPIの発表を控えるなかで様子見ムードとなり、値幅は小動きに。結局、オープンと同水準で海外時間へ渡った。アジア通貨は全般に小動きとなる中、前日に続きインドネシアルピアは対ドルで上昇。9日の臨時利上げの効果か、18,000の大台を下回りクローズ。

欧州時間のドル円は160円台半ばへ小幅に上昇しNYオープンを迎えた。NY時間のドル円は、朝方に発表された米5月コアCPIが予想を下回った事を受け、発表後は米金利の低下に伴い160円前半へと売られる展開。しかし、その後はトランプ米大統領がイランとの紛争を巡る早期終結の可能性は低いと思わせる発言を背景に、再度160円台半ばへ反発。NY時間午後には終盤にかけて160.6円付近までじりじり上値を伸ばした後、同水準付近でクローズ。

【金利】

昨日の米10年債利回りは上昇。東京時間は1bp程度のレンジで方向感無く推移。欧州時間入り後もしばらく目立った動きは見られなかったが、トランプ大統領からイランとの対話状況を批判するコメントが発せられると、米10年債利回りは一時4.55%付近へ上昇。NY時間に入り、5月の米CPIが発表されると、初動は金利低下で反応し、4.51%付近をつけた。NY時間午後には米10年債入札が行われ、応募状況は堅調となったものの、その後特段目立ったヘッドラインもない中で金利は上昇。結局、米10年債利回りは前日比+3.6bpの4.552%で引けた。

【予想】

本日のドル円はドル買い優勢を予想。昨日の米5月CPIの結果は、CPIコアの前月比が+0.21%と4月分(+0.38%)から減速したことが注目された。しかし、足元の米・イラン間での停戦交渉の停滞感や原油価格が再度上昇傾向にあることなどが懸念され、昨日のドル・インデックスの強さはむしろCPI発表前後より上昇し、ドル円も小幅ながら上昇して引けている。係る状況下、円買い介入に対する警戒感依然高いものの、本日もドル買い地合いが継続することを想定。

【本日の予定】

(日本) 2Q 景況判断BSI大企業全産業
(日本) 5月 東京オフィス空室率
(日本) 輪番 1-3y、3-5y、5-10y、10-25y
(アジア) 5月 韓国 失業率
(アジア) 6月 豪 消費者インフレ期待
(欧州) 4月 独 経常収支
(欧州) 5月 愛 CPI
(欧州) 5月 英 RICS住宅価格
(欧州) ECB政策理事会
(欧州) ユーロ圏財務相会合(ルクセンブルク)
(欧州) カルド ECB総裁会見
(米国) 1Q 家計純資産変化(確)
(米国) 5月 PPI
(米国) 国債入札(30Y)
(米国) 新規失業保険申請件数

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。